

# コロニーユーン

NO.16  
1945年1月

教育大文学部争議宣伝局

發行

## 試験阻止・全学ストと我々の意志を！

教育入の全ての学反語君!! らが以後、圧制的取扱いを最悪とする文部省の争議の強固なストライキ斗争は、困難な體育・体操の体制をのうさり、再び新たな斗争体制はいろいろとしている。今、體育・体操の力を改めしにむかえ、我々は、極めて強度な意欲性を持てあらゆる敵の攻撃を防ぐのみの外、一切の日和見主義を拒して、試験阻止・全学ストの体制へと突き進むをねらおる。

### III 大学の開闢、文部省との全面的にして根本的対決を！

東洋大学当局は、文部省とのコトを露骨に強め、8月14日、彼らの野望による調査に討上を実行したのである。早く8月28日、"本館封鎖付策平部"なる陣圧機関を設置し、我々の本館封鎖を解説さんどその攻撃を強めてきている。調査に討上の進行にも拘られるよう、さばして我々との現実的な力關係を示すの外、何事もあらかじめしてはあくまで非正規的である。文部省は、環在彼らくどつての主要な「抗」は本館を越してあるが故に、本館本部を設置し、解説に在奔しているのである。併せて我々は調査に討上を許してはほんと、身体も、斗争を斗い抜くことになり、二大戦利品を口実するに拘つて、その眞体的な表現の本館封鎖付策平部であることを犯せるならば、我々は断固としてこの抗議を死守しなければいけないのだ!!

### IV 試験阻止・全学ストの実現により

#### 太衆団交→移転撤回への道へ！

かかる点との現在的な力關係を、要承認致しまで此後レコいく斗争の歴史は一体なんのか? それ一つとも勝ちも試験阻止であり、一つも压制的な空虚感であることは、我々は胆く感じ、實めておこなうべきは、たゞアラウム、敵が、試験を切り崩しの契機リ機会として毎つていることは明白である。

然れど、我々が強固な試験阻止を試みたるならば、それは我々勝利なり、よつと強く強力なる武器となつてゐるが、既に数カラスで日本との想結や交渉を止められたことも事実である。だが、学反語君!! 試験

阻止を大衆的な力の連結によって実現するならば、試験が國交譲渡と向けて巨大な一步を踏み出すのが、といふことを明確に強調し、その実現へと前進しないか? と同時に、我々は全学ストを実現するではないか? 本館封鎖調査云々の如きは、本館封鎖を基盤とした強固な長期的全学ストを実現しなければならない。そこでは、一部の愚かな語君のいう「本館封鎖解除」の如き、「民主的、戦斗的」な子ズロークンのもと大抵とのケバールを行便するといふような策略を一切断絶し、他田学部の失速的学友を組密に結集し、全学斗争委員会の結成をはからねばならぬ。一部の語君の「五五七」など、もの「な、なんら実体をもつたものでなく、ヨーロッパのもの」が、國大改路線の枠内に、すつまとはいい、二人がしょひ、以上、我々は斗争の尖端的形態である本館封鎖を結果案として全学斗争委を形成し、歩調にて体制を築きあらねばならぬけれど、

#### “國大改路線を打倒し、

#### 諸学園斗争勝利の先頭へ！”

#### 諸学園斗争勝利の先頭へ！”

現在、日大、東大、東洋大学々の諸学園斗争の領導は、政府と文部省との全面的対決、東大はそれの攻撃への敗北の局面において、我々はそくして諸学園斗争との強固な連帯をからとく、敵の体別離破滅をはねのり、全目的な斗争の学友の交流を、支援をもつて政府介在占の大学支配を粉碎していくニウではないか、そして、その勝利の天職だ、われが前進大を

#### 三、のズロークン

#### 筑波移転実力阻止!!

#### 調査費計上撤回!!

#### M.D委即時解散!!

#### 討評会大衆団交をかちとどせ!!

#### 国大改路線粉碎!!

#### 本館封鎖付策平部を解体すよぞ!!

#### 前期試験阻止!!

諸学園二十三と通帶で、政府征占の大學支那を粉碎するぞ、

# 集会宣言

一、本集会に結集されたすべての学友諸君々  
我々の窮屈斗争はすでにハリ日向にりじ、ごヨイの  
かれ、とりわけ困難な夏休み期間中をも、本館封鎖  
を守り抜き、今や我方の斗争は休み時節を裏切るにい  
れ之こり。

六年前にわたる窮屈斗争は、その最終局面をいか  
くむとしている。するわち、当校当局は、昨年の「  
六・一ひ工地賃金決定」をエティップとして「窮屈移転  
の舊約表明」あるいは、「マスマニアプラン委員会の  
設置」、「中間答申発表」等々の移転推進策を成し  
とげ、今年に入つては「六・二ひ調査」計上を決定し  
し、我々の反対斗争にもかかわらずハ月ニ日文部  
省にそれを提出してしまったので。しかも、その過  
程においては学生を一切排除したばかりか、文学部  
教委會すらをバージレ學長評議会段階で決定すると  
い、正形で、その权力を大学上層部へ集中化しつづ  
け行してさにのだ。卓友諸君々このようすの学校当局  
の移転推進策方に對して、一聲して反対してこきに我  
々は、昨年の斗争の五じめに敗北の教訓を眞に我々  
のものとしこ、現存大學当局に対しても反対を開始  
し已のだ。本館封鎖こそ、その序幕であつた。文學  
部学友を先頭とする本館封鎖の斗争は、現在、大學  
當局を震撼せしめこりる。それが能らば、何とかし  
て我方の斗争を破壊せんがため、様々力取引運動を  
おこしている。就職、獎學金問題を除く、我方の内部  
分裂を期待し、あるいは夏休み中の自然消滅を夢想  
した彼らは、これが我々の鉄の团结と不屈の斗争の  
前に粉碎されるや、今度は一本館封鎖对策本部による  
ものをテシテ上げ、我々の斗争に刃するウソと干  
タラメをぬり上げられた文書を学友一人一人に郵送  
する等々の破壊策動を發めている。しかしやがて我  
々は、このふうな一切の策動を大槻的刀刃による、乙  
之、彼う學校當局が何故に「撤退」を求めていたる  
をさしにこの「窮屈」を、並に教育大の「發展」といづ  
コドを海しこの工地の問題、設備の問題、としてし  
か見ることができず、現在の政府文部省の文部政策  
科技術政策など全く頭にないのだ。我方、「能ら  
ればかりか、現在全国五〇箇大学で斗われこりる學  
園斗争に君任する普遍的意義を明らかにし、政府文

部省の大學に対する支配政策をその先頭に立ち、己斗  
ていかなければならぬ。さて我方の苦しい中へ  
六月以降の斗争の経緯をふり返りみる。ところ  
向ふりも明白なことは、この斗争は之學部のみに  
定されこじたとりの決定的つ穷屈が現出しこじた  
とある。それ故、今我方に問われ、今後の我々  
の斗争の成否を決するであろう任は、この斗争の  
全般的方針である。現在の文學部だけの斗争では、  
あの大學当局の強圧的態度を踏破することに困難  
であろう。そこでこの本館封鎖を中心として、全學  
の學友が我々の隊列に参加してることを呼び掛け  
られればならない。それを保證するものとしこ、我  
々はここに全學斗争委員会準備会の結成を宣言する  
。すべての學友は全學斗争に結集せよ。我々は、今後、  
この窮屈移転粉砕の困難な斗争を「試験ホイコシ」  
無期限ストレート斗争に引き抜き、大學當局が大衆団交に附  
いて我々の勇氣を認め、窮屈移転を白紙撤回する日  
までに役かなければならぬ。學友諸君々この集会  
を題材とし、明日斗争にコベこの學友を結集させ、  
本館封鎖を死守し、全學ノトをかどどるため、その  
先頭に立つて斗争をつづけてゆけり。

一九六八年九月十三日

## 全學總決起集会

"オ"のスローガン

窮屈移転実力阻止!!

調査ヒ計上自紙撤回!!

M.ロ委即時解散!!

本館封鎖対策本部解体、

前期試験阻止!!

國大換路線粉砕!!

全面の戦争学園斗争と連帶して

私占の大学支配を駆逐するぞ!!